

高等部概要について



茨城県立美浦特別支援学校

学部目標

- (1) 一人一人の特性や発達段階に応じた学習指導の充実や協働的な学びの充実に努め、社会参加に必要な知識・態度・習慣を養い、活用できる力を育てる。
- (2) 家庭・地域社会・関係機関との連携した教育活動を行い、地域で生きる人材を育成し、自立と社会参加を目指す。
- (3) 自主的に健康な身体と豊かな情操を培い、根気強く、生き生きと生活できる力を育成する。

教育課程

類型化（コース制）

自立活動コース

生活コース

総合コース

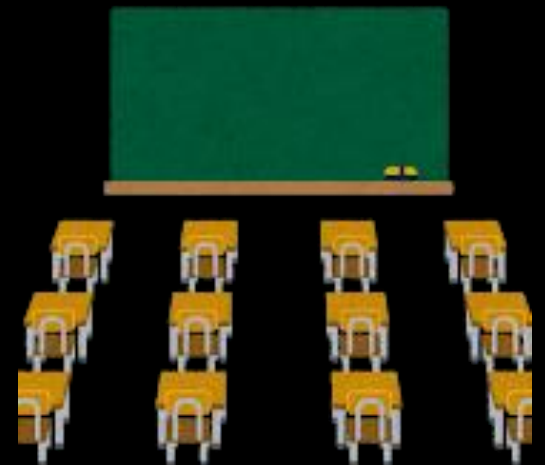
職業コース

類型化（コース制）のねらい

- 一人一人の進路希望や障害の状況、特性・関心などの教育的ニーズに応じた教育課程の編成
- 学びのペースに応じたグループ編制による学習の推進と充実
- 自立と社会参加の育成に結びつく学習の展開

学級編制

各コースを基本に学年ごとに編制し、
学びのペースに応じた学習を充実させ、落
ち着いて取り組むことができる学習環境を
設定



教育課程（時間割）

	月	火	水	木	金
1 (8:50～)	＜コース＞ ト レ ー ニ ン グ				HR
	【保健体育・職業・自立活動】				
2	＜コース・縦割り＞ 学習は、各コースにより異なる				
3					
4					
	給 食 ・ 昼 休 み ・ 清 掃				
5・6	＜学年＞ 道徳 特別活動	＜学年＞ 1年 音楽 2年 保健体育 3年 保健体育	＜学年＞ 1年 社会/自活 総合 2年 美術 3年 音楽	＜学年＞ 1年 保健体育 2年 社会/自活 総合 3年 美術	＜学年＞ 1年 美術 2年 音楽 3年 社会/自活 総合

※午前は、コースでの学習

午後は、学年での学習になります。（社会はコース学習）

※スクールバス発車 15:00

学年での学習

音 楽

◇歌唱、器楽、手話・身体表現、鑑賞など



美 術

◇絵画、造形、工作、鑑賞など



道 徳

◇自分自身、人とのかかわり、集団や社会、生命や自然、崇高なものとのかかわりに関すること

特別活動

◇学級活動（HR）、委員会活動、学校行事など

総合的な探究の時間

◇交流活動、SDGsについて、国内外の文化、防災など

各コースについて

自立活動コース

《個別指導の体制の整備》

《自立活動の充実》

- ・心身の健康の維持増進を図る。
- ・運動機能及び基礎感覚機能の維持・向上を図る。
- ・人や物とのかかわりに気付き、感じたことを表出できる力を伸ばす。

		月	火	水	木	金
1	8 : 50 9 : 30	自立活動（健康観察・個別課題） HR（学 級）				
2	9 : 40 10 : 30	自立活動 （感覚・情操）	自立活動 （表現・造形）	自立活動 （感覚・情操）	自立活動 （感覚・情操）	自立活動 （表現・造形）
3	10 : 35 11 : 25					
4	11 : 25 12 : 15					

自立活動コース

自立活動

個別課題

◇個別に応じた指導
(体調を整える体操、ストレッチ、コミュニケーションの学習など)

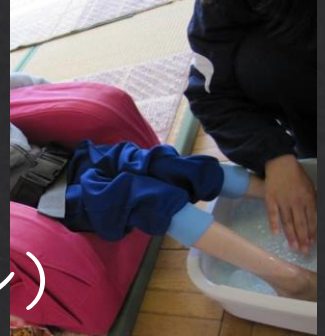
表現・造形

◇視覚、触覚、嗅覚などを活用して、素材の違いに気が付く。
【ソルトアート、アロマポンポンづくりなど】

自立活動コース

健康・運動

- ◇身体を動かす。
- ◇健康観察（顔色、体温、脈拍、サチュレーション）
- ◇朝の会、ふれあい体操など



感覚・情操

- ◇音楽に合わせて体を動かす活動を通して、感じたことを表情や発声などで表現する。【音楽鑑賞】
- ◇本を見たり、映像を見たりして感じたことを表情や発声などで表現する。
【感覚遊び、身体表現、読み聞かせ、鑑賞など】
- ◇様々な感覚を使って、環境の変化に気付いたり、感じたことを表情や発声などで表現したりする。
【壁画、スヌーズレン、季節を感じよう(校内散策)】

生活コース

《個別の課題に応じた指導の充実》
《基本的生活習慣の確立と定着》

- ・ 基礎的生活習慣の確立と定着を図り、自分でやり遂げようとする意欲と力を伸ばす。
- ・ 自分の気持ちを表現し、人とのかかわりを意識して集団の中で活動する力を伸ばす。

		月	火	水	木	金		
1	8 : 50 9 : 30	ト レ ー ニ ング（自立活動・保健体育） HR（学級）						
2	9 : 40 10 : 30	国 語	数 学	国 語	数 学	社会	家庭	理科
3	10 : 35 11 : 25	職 業 （作業的 内容）	自立活動	自立活動	職 業 （作業的 内容）			
4	11 : 25 12 : 15		自立活動	自立活動				

生活コース

国語

数学



◇一人一人に応じた学習内容、小グループによる学習
【国語：聞こう・伝えよう、名称、読む、書く、かるたとりなど】

【数学：数えよう、仲間分けをしよう、色や形の弁別、
一対一対応買い物など】

自立活動



◇個別課題に応じた学習
【コミュニケーション、集団参加、ウォーキングなど】

生活コース

家庭

◇衣食住に関する基本的な技能の習得
【簡単な調理、小物づくり、整理整頓など】



職業（エコ・クラフト班）

◇社会生活に必要な基礎的知識の習得
【シュレッダーがけ、紙すき、ペットボトル分別など】



理科

社会

- ◇実験や観察などの体験的な活動を通して、社会生活に必要な力の育成。
- ◇社会的事象について、情報を調べる手段を知り、感じたことを表現する。

総合コース

《将来の生活のための基礎的な学習内容の定着》

- ・ 社会生活に必要な言語能力、数的処理能力の向上を図り、日常生活に生かせるようにする。
- ・ 家庭生活への関心を高め、社会生活に必要な知識・技能・態度・コミュニケーション能力を身に付ける。
- ・ 心身の健康に関する意識を高めるとともに体力の保持増進を図る。

		月	火	水	木	金	
1	8 : 50	ト レ ー ニ ン グ（保健体育・職業） HR（学級）					
	9 : 30						
2	9 : 40 10 : 30	職 業 （作業的 内容）	国 語	国 語	職 業 （作業的 内容）	数 学	
3	10 : 35 11 : 25		数 学	職 業		家 庭	理 科
4	11 : 25 12 : 15		自立活動				

※社会を学年ごとに午後に1時間行います。

総合コース

国語

数学

◇一人一人に応じた学習内容、小グループによる学習
【国語：漢字、文章読解、聞く・話す・伝える、熟語、作文など】

【数学：四則計算、時刻と時間、金銭、長さ・重さなど】



職業

- ◇社会生活に必要な基本的知識・技能の習得
- ◇社会自立に必要なマナーやルールの習得
【働くこと、見だしなみ、消費生活、進路など】
- ◇清掃活動などを通し、勤労・協力の心の育成

総合コース

家庭

◇衣食住に関する知識や技能の習得

【裁縫、調理、衣服の手入れ、家庭生活など】



自立活動

◇個別課題に応じた学習

理科

社会

◇体験的な学習を通して社会生活に必要な問題解決の力等の育成。

◇社会的事象について関心をもち、情報を適切に調べたりまとめたりする。

職業コース

《職業教育の充実・自立に向けた社会性の向上》

- ・社会生活に必要な基礎学力（国語・数学）の向上を図り、日常生活に生かす。
- ・就労や社会生活に必要な知識・技能・態度を身に付け、幅広い分野の知識と経験を生活や進路に生かす。
- ・衣食住に関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的知識と技能を身に付ける。

		月	火	水	木	金
1	8 : 50 9 : 30	HR（学級） ト レ ー ニ ン グ（保健体育・職業）				
2	9 : 40 10 : 30	職 業 （作業的 内容）	情 報	国 語	職 業 （作業的 内容）	数 学
3	10 : 35 11 : 25		国 語	数 学		家 庭
4	11 : 25 12 : 15		自立活動	情 報		理 科

※社会を学年ごとに午後に1時間行います。

職業コース

職業

◇職業生活に必要な知識・技能の習得

【見だしなみ、就労意欲・態度、公共のマナー、コミュニケーションなど】

◇専門的技能の習得

【クリーンサービス オフィスサービスなど】

《社会人講師の活用》

◇社会自立に必要な力の習得

【健康管理、経済生活、人との付き合い、選挙など】

◇勤労・協力の心の育成

職業（専門的内容）

クリーンサービス

環境整備・清掃

オフィスサービス

事務・接客

ケアトレーニング

介護・福祉

社会人講師の活用

ビルメンテナンス協会職員

看護学校の教師

専門学校教師



職業コース

国語

数学

◇一人一人に応じた学習内容、小グループによる学習
【国語：漢字、文章理解、外来語、聞き取り、メモの取り方など】

【数学：四則計算、百分率、金銭、図形など】

情報

◇基礎的なパソコンの操作

【ワードやエクセルの入力、タイピングの練習、表入力、画像の挿入、データの保存など】



家庭



◇衣食住に関する知識や技能の習得

【裁縫、栄養、調理、洗濯、アイロンがけ、整理整頓、衣服の洗濯・補修、リサイクルの仕組み、経済・消費生活の仕組みなど】

自立活動

◇個別課題に応じた学習

【人間関係の形成、コミュニケーションなど】

理科

社会

◇観察や実験などを通して社会生活に必要な問題解決の力等の育成。

◇社会的事象について関心をもち、情報を適切に調べまとめたり、表現したりする。

教育課程

縦割り編制での学習

職業

月・木曜日（2～4校時）

総合コース



ビーズ 木 エ
園 芸 レザー
手工芸

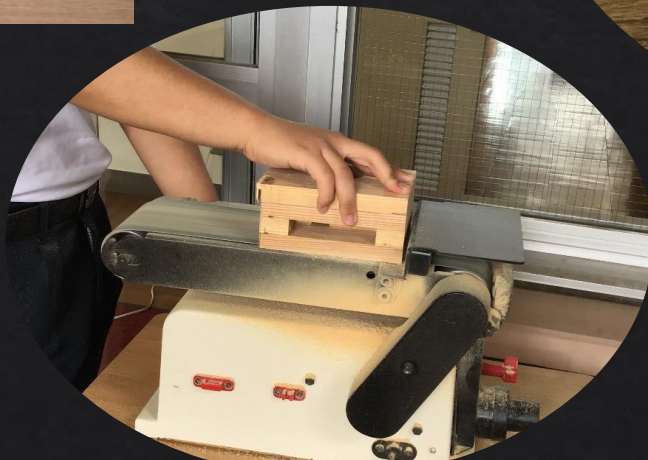
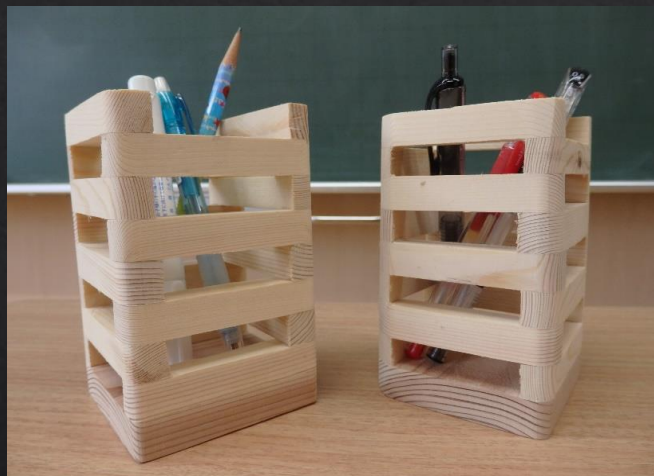
生活コース



エコ・クラフト

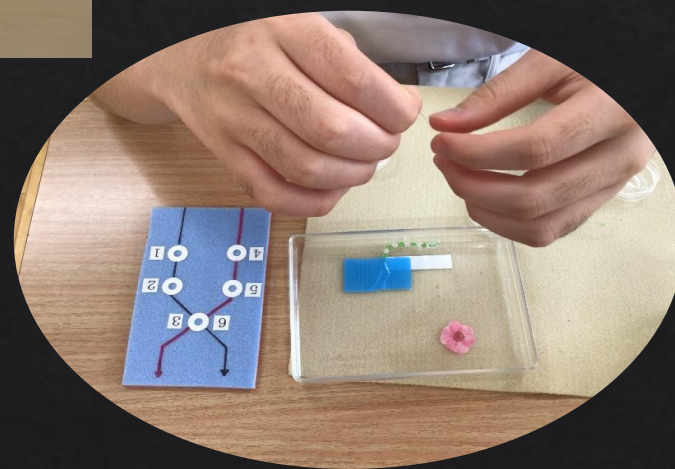
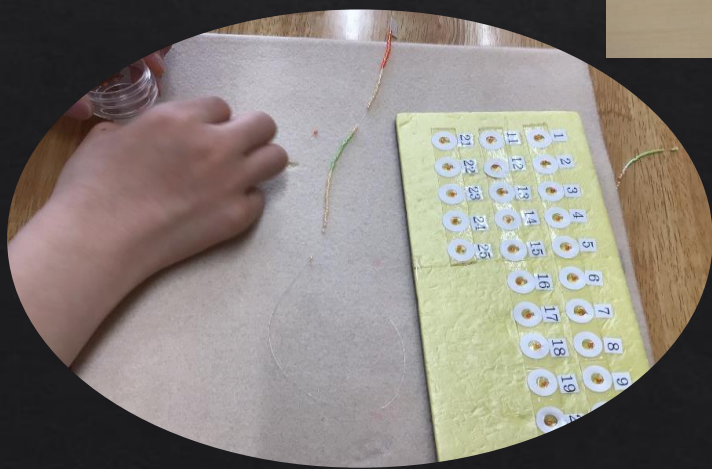
木工班

【スマホスピーカー、その他木工作品】



ビーズ班

【ストラップ、アクセサリー
ビーズ小物製作など】



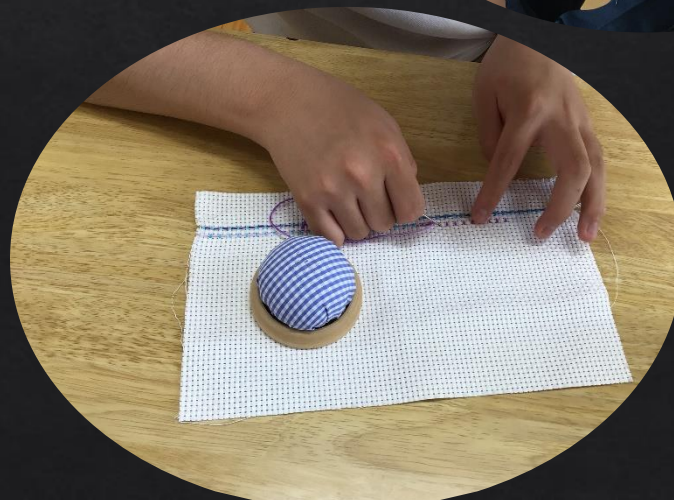
レザー班

【ストラップ、キーホルダー
ネームホルダー製作など】



手工芸班

【ランチョンマット、スウェーデン刺繍、クラフトかご、ヨーヨーキルト製作など】



園芸班

【農場管理、作物の栽培など】



エコ・クラフト班

【シュレッダーがけ、牛乳パックを再利用した製品、ペットボトル分別など】



保健体育

縦割り編制での学習

プール施設の老朽化のため、現在水泳学習は実施なし

グループ 月	Aグループ	Bグループ	Cグループ
4	体づくり運動	体づくり運動	体づくり運動
	新体力テスト	新体力テスト	↓ 新体力テスト
5	陸上競技	陸上競技	陸上競技
6	↓	↓	↓ 陸上競技
7	体育理論	体育理論	体育理論
9	器械運動	器械運動	器械運動
10	球技	球技	球技
11	↓ 高等部球技大会	↓ 高等部球技大会	↓ 高等部球技大会
12	持久走	持久走	持久走
	↓	↓	↓
1	武道	武道	武道
2	↓	↓	↓
3	ダンス	ダンス	ダンス

主な年間行事予定

※各コースで進路学習に係る校外学習を実施している。

5 月

- ・ 遠足(1年生)
- ・ 避難訓練

7 月

- ・ 授業参観、学年懇談会
- ・ 1学期終業式
- ・ アビリンピック大会参加
(職業コース代表者)
- ・ 個別面談(2、3年)

4 月

- ・ 1学期始業式
- ・ 入学式
- ・ 対面式
- ・ 学部、学年懇談会

6 月

- ・ 個別面談(1～3年)
- ・ 引き渡し訓練(1年)
- ・ 第I期 現場・校内実習



9月

- ・ 2 学期始業式
- ・ 個別面談（1 年生）

10月

- ・ 第Ⅱ期現場・校内実習
- ・ 創立記念日（14日）

11月

- ・ 宿泊学習（2 年生）
- ・ 修学旅行（3 年生）
- ・ 学校公開
（授業参観、学年懇談会）
- ・ 特体連スポーツ競技会

12月

- ・ 2 学期終業式



1 月

- ・ 3 学期始業式
- ・ 第Ⅲ期現場・校内実習
- ・ 1 年短期企業実習

2 月

- ・ 個別面談(1～3年)
- ・ 児童生徒会役員選挙
- ・ 授業参観、学年懇談会
- ・ 卒業生を送る会
- ・ 入学者選考



3 月

- ・ 卒業式
- ・ 修了式

交流教育

学校間交流

- ・学年ごとに地域の高校生と授業（職業）を通じて交流を行う。



部活動

午後 3 : 0 0 ~ 4 : 0 0

競技スポーツ部（火・木・金曜日）

陸上・バスケットボール・サッカー・フライングディスク、
駅伝など

音楽部（火曜日）

和太鼓

通学方法

スクールバス利用



自宅 → スクールバス停 → スクールバス → 学校

- ・ 保護者送迎
- ・ 自主通学

(スクールバス停まで、一人で徒歩や自転車で通学する。)
(練習・手続き・校長の承認が必要となる。)

保護者送迎

自宅 → 学校



- ・ 保護者が学校まで直接自動車等で送迎する。

通学方法

自力通学



自宅 ➡ 徒歩・自転車・公共交通機関 ➡ 学校

- ・ 通学方法 . . . 公共交通機関、自転車を利用して自宅から学校まで生徒自身で通学する。
- ・ 目 的 . . . 将来の社会自立を考慮し、自力で学校へ通う態度や生活力を養う。

＊自力通学を行うには、練習・手続き・校長の承認が必要となる。

進路指導

学ぶことと自己の将来とのつながりを見通すことのできる系統的な指導内容の計画と実施をし、卒業後の自立と社会参加を目指す。

実習

校内実習(1年生)	コースごとに卒業後の進路先を想定した環境を設定し、社会生活に必要な能力や態度(あいさつ、言葉遣い、身だしなみなど)を身に付ける。 (2週間/年2回)
短期企業実習(1年生)	企業で働く経験を通して学び、職場適応や働く態度、技能を養う。 (3日/年1回)
現場実習(2・3年生)	進路決定に向けて、想定される進路先(企業、福祉施設など)で実習を行う。(1週間~2週間/年2~3回)

進路決定までの流れ

1年生

- ・校内実習
- ・福祉事業所相談会
- ・短期企業実習

自分の適性や課題を知る

2年生

- ・現場実習
(就労・福祉事業所希望者)
- ・福祉事業所相談会

卒業後の生活に必要な力を身に付ける

3年生

- ・現場実習
(就労・福祉事業所希望者)

進路選択決定

過去3年間の卒業生の進路先

卒業年度	就職	訓練機関	福祉サービス	施設入所	在宅	進学	合計
令和4年度	6	0	25	0	0	0	31
令和5年度	8	0	26	1	0	0	35
令和6年度	14	0	20	0	1	0	35

服装・持ち物等

標準服【パンツスタイル スカートスタイル】

紺色のブレザー、グレーのズボン
チェックのスカート、白のワイシャツ、ブラウス
ポロシャツ（実態に応じて）
ネクタイ、リボン（本校指定）
※ベストやカーディガンの着用可

靴・上ばき

履きやすい
運動靴など



体操服

- ・ ジャージ（上下）
- ・ Tシャツ
- ・ ハーフパンツ
（本校指定）



作業服

- ・ 長袖
- ・ 長ズボン
（2ピースでズボンはストレートタイプ
色は紺、グレーなど）



持ち物

- ・ かばん…扱いやすいもの（スポーツバックやリュックなど）
- ・ 連絡ノート、筆記用具、配付物入れ
- ・ 給食セット（はし・スプーン・エプロンなど）

※手の大きさや体に合ったものを家庭で用意。

本校への入学について（高等部）



中学校と連携が必要です